LIXIL
INAX

保証書付
（裏表紙）

ツーハンドルシャワーバス水栓

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意…… 1
各部の名称…… 3
ご使用方法…… 4
ご使用上の注意…… 5
冬期凍結の恐れがある場合…… 8
お手入れ…… 8
修理を依頼される前に…… 9
アフターサービスについて……10
保証書…… 裏表紙

●安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「指示した場所に触れてはいけません！」

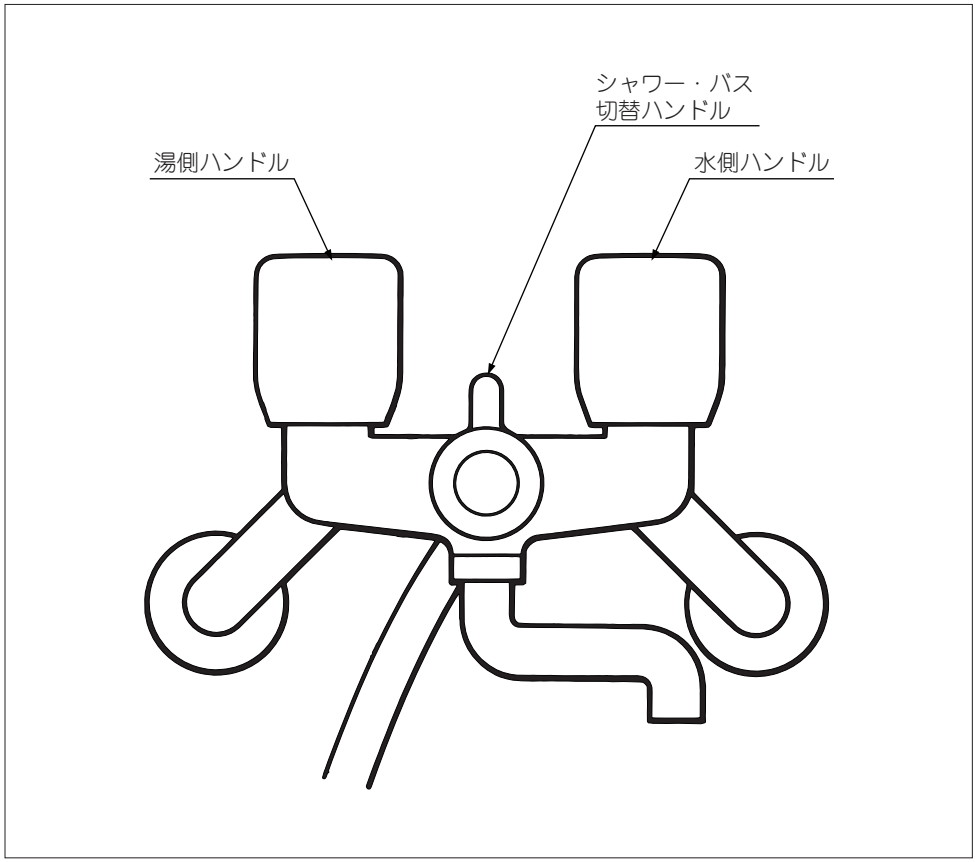
……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注　意	
給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	
お使いになる前に、お湯の出る側がシャワー側か吐水口側かシャワー・バス切替ハンドルで確認してからお湯をお使いください。 ※間違えるとヤケドをする恐れがあります。	
シャワーをお使いになる前に必ず手で適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	

⚠ 注　意

お湯をお使いになるときは、必ず水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。 ※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出し、ヤケドをする恐れがあります。	
水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	
高温の湯をお使いのときには、吐水口（パイプ）は高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	
お湯を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。 ※同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。 ※圧力変動の影響を受けにくい水栓としてサーモスタット付混合水栓をおすすめします。	
凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。（寒冷地仕様の場合） ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。	

●各部の名称



●ご使用方法

●吐出量・温度の調節

ハンドルに付いている青と赤の表示は、それぞれ水と湯を表しています。

シャワー・バス切替ハンドルが吐水口側にあるのを確認してから、水側ハンドルを最初に開き、次に湯側ハンドルをゆっくり開いて適温適量にしてください。

※湯側ハンドルを最初に開くと高温の湯が出るため危険です。

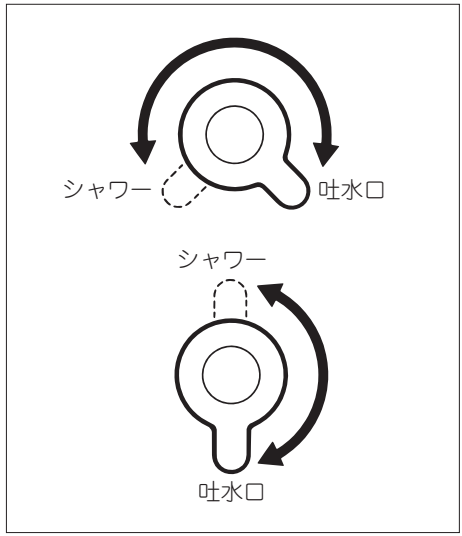
●シャワー・バスの切替え

シャワー・バスの切替方法は3タイプあり、切替方法は次の通りです。

※給湯圧力が低く、給湯圧力と給水圧力の差が大きい場合は、吐水口とシャワーを切り替えたときに、温度が変わることがあります。もう一度、温度の調節を行ってから使用してください。

〔一般タイプ〕

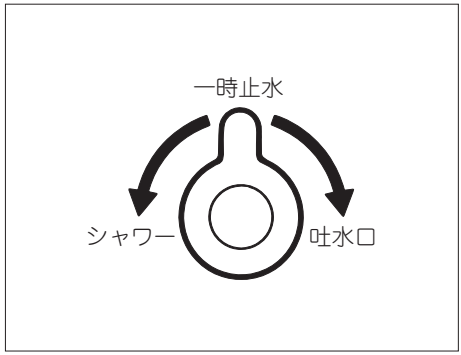
吐水口（バス側）使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを右へ、シャワー使用のときは左へ回してください。



〔一時止水タイプ〕

シャワー・バスの切替方法は一般タイプです。

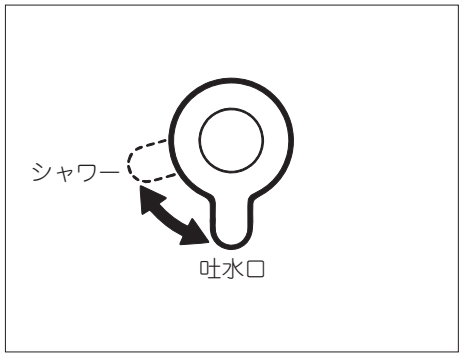
吐出を一時的に止めるときは、シャワー・バス切替ハンドルのレバー部を上向きにします。



〔自動復帰式タイプ〕

吐水口使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを左へ、シャワー使用のときは吐出状態で右に回します。

※シャワーを止めると自動的にシャワー・バス切替ハンドルがバス側に切り替わりますので、次に使用するとき、シャワーを浴びません。

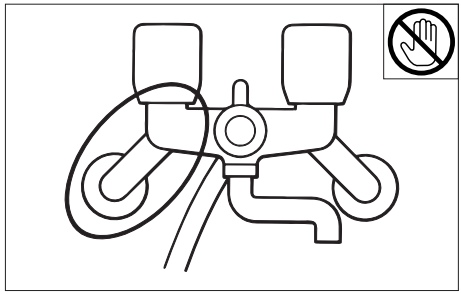


●ご使用上の注意

●ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
  ※吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
  このときは、給湯器の設定温度（能力切替付は能力）を少し下げてお試しください。

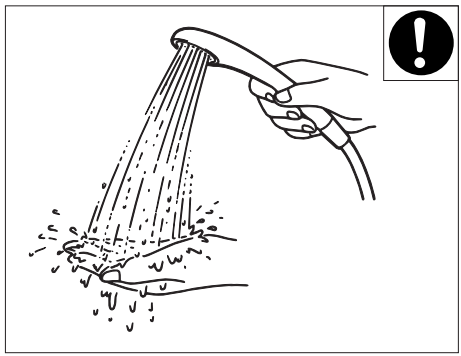
●水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。



●お湯をお使いになるときは、必ず水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。
※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。

●お使いになる前に、お湯の出る側がシャワー側か吐水口側かをシャワー・バス切替ハンドルで確認してからお湯をお使いください。
※間違えるとヤケドをする恐れがあります。

●シャワーをお使いになる前に必ず手で適温であることを確かめてください。
※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



●高温の湯をお使いのときには、吐水口（パイプ）は高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

●お湯を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。

※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

●高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。

※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

●ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。

※同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。

※圧力変動の影響を受けにくい水栓としてサーモスタット付混合水栓をおすすめします。

●凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。（寒冷地仕様の場合）

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

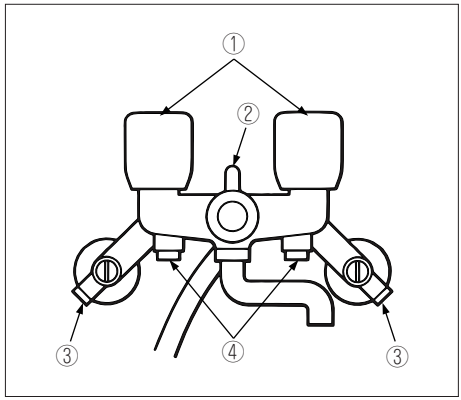
●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

※ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。

●冬期凍結の恐れがある場合

（寒冷地仕様の場合）

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。



1. 配管の水抜栓を操作する。
2. 湯側ハンドル、水側ハンドル①を開ける。
3. シャワー・バス切替ハンドル②を吐水口側に回す。
4. 取付脚の水抜栓③（2ヶ）を開ける。
5. 本体の水抜栓④（2ヶ）を開ける。
6. シャワー・バス切替ハンドル②をシャワー側に回す。
7. シャワーヘッドを振って水をよく切り床に置く。

※再通水前には水抜栓③④を閉めてください。

※機種によっては、水抜栓③④が付いていない場合があります。このときは、4、5の操作は不要です。

●お手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

●汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。

●水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉等の粒子の粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ブラシ等
- シンナー、ベンジン等の溶剤

●壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。

●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

●吐出量が少ないとき

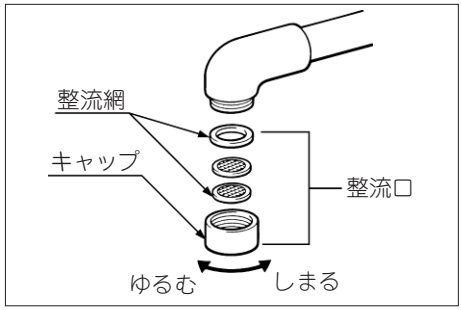
1. 整流口のゴミ詰まりがないことを確かめてください。(整流口付の場合)
   ※「整流口の掃除」の項を参照ください。
2. ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切替付のものでは適正能力にセットされていることを確かめてください。

●希望の温度が得られないとき

1. 整流口のゴミ詰まりがないことを確かめてください。(整流口付の場合)
   ※「整流口の掃除」の項を参照ください。
2. 給湯器から十分な温度のお湯がきていることを確かめてください。

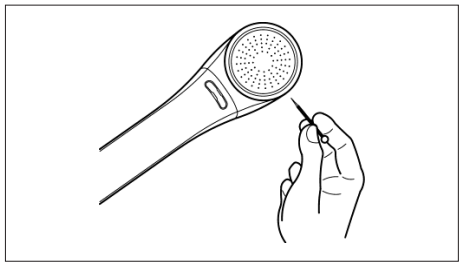
●整流口の掃除

整流口のゴミ詰まりは機能を低下させます。
ときどき次の要領で掃除してください。
手でキャップを回し整流口を取り外し、整流網を水で掃除してください。



●散水板の掃除

シャワーの穴を針などで刺して、目詰まりを取ります。
※散水板の取外しが可能なタイプは、散水板を取り外した上で目詰まりを取ることをおすすめします。



※上記処置で故障が直らない場合は取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。

●アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P.9)を参照して確認してください。

⚠注　意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。

2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日**から**2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示、「各部の名称」の項(P.3)参照）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または
LIXIL修理受付センターまで（ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/support/）
TEL **0120-179-411**　受付時間9:00～20:00　365日受付
FAX **0120-179-456**

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》
お客さま相談センターまで
TEL **0120-179-400**　受付時間 平日　9:00～18:00
FAX **0120-179-430**　土日・祝日 9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562−40−4050　FAX 0562−40−4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

LIXIL
INAX

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：ツーハンドルシャワーバス水栓　　（品番：　　）			
保証期間 取付日より2ヶ年		取付日 年　月　日	
お客さま	おなまえ	販売店名	
	おところ		
	おでんわ （　　）　　-	TEL（　　）　　-	

無効

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
   ⑴ 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
   ⑵ 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
   ⑶ お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
   ⑷ 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
   ⑸ 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
   ⑹ 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
   ⑺ 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
   ⑻ 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
   ⑼ 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
   ⑽ 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
   ⑾ 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
   ⑿ 消耗品（パッキン、ヒューズ、電池等）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
   ⒀ 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
   ⒁ 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   ⒂ 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
   ⒃ ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
   ⒄ 保証書の期限切れまたは提示がない場合
   ⒅ 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ケ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
　　土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間 9:00～20:00（365日受付）

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp

GMS-0083（14026）